

本町の2人が県体協功労受賞



ボート競技の振興、発展に貢献
大久保 孝 喜さん



地域での柔道の振興、発展に貢献
佐藤 博さん

長年にわたる 活動に光

中央町の佐藤博さん(64)と長崎の大久保孝喜さん(61)が、県体育協会功労賞を受賞しました。同賞は県内のスポーツの振興、発展に貢献した方に贈られるもので、佐藤さんは柔道競技、大久保さんはボート競技での活動に対し功績が認められました。昭和42年に山田柔道協会が発足した当時から、指導者として子供たちの健全育成と柔道の普

及に尽力してこられた佐藤さん。その長年にわたる功績が高く評価されたものです。

佐藤さんは「このような賞をいただき、身に余る光栄です。私がこれまで活動を続けてこられたのも、師範をはじめ先輩方や同僚、後輩の支えがあつてのことです。この賞はみんながいただいた賞だと思っております。今後はお世話になつた皆さんへ、恩返しのもつりでも協力していきたいと思ひます」と受賞の喜びを話していました。

大久保さんは山田ローイングクラブの監督を務めながら、昭和43年に23歳の若さで県ボート協会理事に就任。以来昭和61年に副理事長、平成7年からは理事長を務め、長年にわたり県のボート競技の発展に力を注いできた活動が評価されました。

「今回私が功労賞を受賞できたのも、協会の皆さんのお力添えによるものです。これまでは県協会の理事長として県全体を見てきましたが、これからはもっと山田のボート競技にも目を向けていきたいと思ひます」と語る大久保さん。4年後にはインターハイが北東北3県で、9年後には国体が本県で開催される予定となつており、大久保さんは現在、大会の開催準備に忙しい毎日を送っています。

ミニバス宮古地区大会

山田男子が初優勝飾る



第20回東北電力旗ミニバスケットボール宮古地区大会で、山田ミニバススポ少男子が優勝しました。大会は6月9日と10日、宮古市民総合体育館で開かれ、男子の部には5チームが出場。試合は総当たりリーグ戦で行われ、4戦全勝で初優勝を飾りました。7月28日から盛岡市で開催される県大会では、ベスト8入賞を目指します。

新しい教育委員に湊さんを任命

6月12日から開かれた町議定例会で、新しい教育委員に湊謙さん(田の浜)を任命することが同意されました。川端弘行教育委員の任期満了に伴うもので、任期は6月21日から向こう4年間です。

湊さんは「子供たちが健全に育つ手助けができればと思ひています。まだ就任したばかりで分からないこともありますが、皆さんの意見をお聞きして、微力ながらも力を尽くしたい」と抱負を述べています。

【略歴】昭和37年県立宮古水産高校卒業。船越湾漁協理事。平成6年4月から山田町相撲協会会長、17年5月から山田町体育協会会長、19年4月からは岩手県相撲連盟副会長を務める。山田町船越12-18-12。63歳。



教育委員に任命された
湊 謙さん